

## 成果集の公表について

森林総合研究所の第3期中期計画期間(2011～2015年度)における、林木育種センター及び森林バイオ研究センターで実施した研究開発の主要成果を「林木育種の最前線—2011年度～2015年度の主要成果—」として刊行しました。この成果集では、研究の他に事業での成果についても紹介しています。今中期計画期間中には、「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」の一部が改正され、森林の二酸化炭素吸収能力を強化するため、成長に優れた種苗を「特定母樹」として農林水産大臣が指定することとなり、特定母樹の所有者(9割以上を林木育種センターが所有)にはその原種を配布する努力が求められることになりました。このような林木育種を巡る動きのほか、育種技術の高速化など品種開発に関する研究開発、育種素材や希少種などの遺伝資源の収集・保存に関する研究開発、遺伝子組換えなどの新技術による品種開発に向けた研究開発、海外協力や海外との共同研究における育種技術の研究開発など、様々な成果が生まれました。本成果集は、広く一般の方々にも林木育種の必要性とその取り組み内容をご理解して頂けるように、文章をなるべく減らし、絵や写真を増やしてビジュアル的に理解してもらうよう心がけました。また、研究・事業の成果の紹介だけでなく、この研究や事業をどのように社会に還元し利用できるか、今後この研究・事業をどのように展開していくかについても記載しています。

第1章では、今中期計画の育種関連の研究・事業の成果と今後の方向性の概要を示しました。第2章では、遺伝資源、森林バイオ研究センターでの研究・事業の成果と今後の方向性の概要を示し、第3章では、育種関連の16の

個別研究・事業課題の成果及び今後の活用について紹介しています。第4章では、遺伝資源関連の12の個別研究・事業の課題の成果及び今後の活用について紹介しています。第5章では、特に行政施策や社会に大きく貢献した5の研究・事業の成果を紹介しています。第6章では、林木育種事業と研究を推進・普及するための、他機関との連携や成果の発信について紹介しています。第7章では、専門用語を解説しています。



写真1 成果集の表紙と内容の一部

本成果集は全編または章ごとにインターネットを通じ、以下のアドレスからどなたでもダウンロードすることができます。

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/business/issue/rinboku/documents/frontiers2015.pdf>

皆様に、この成果集をご活用頂けたら幸いです。

(育種部 育種第一課 田村 明)

表紙タイトル写真は、広島県庄原市にあるコウヨウザンの林

※紙ヘリサイクル可



林木育種情報 No. 20

平成28年1月7日発行

国立研究開発法人 森林総合研究所 林木育種センター  
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3809-1

TEL: 0294-39-7000 (代)

FAX: 0294-39-7306

ホームページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>